

日米防衛相会談の概要

令和2年1月15日

防 衛 省

令和2年1月14日、14時05分（現地時間）から約60分間、河野防衛大臣とエスパー米国防長官は、米国防省において会談を行ったところ、概要次のとおり。

1 地域情勢等

両閣僚は、中東地域の情勢について意見交換を行った。河野大臣からは中東地域が緊迫の度を高めていくことを深く憂慮している旨述べ、両閣僚は事態の更なるエスカレーションを避けるべきという点で一致した。また、河野大臣から、昨年12月に閣議決定した中東地域への自衛隊派遣について説明した。両閣僚は直近の北朝鮮問題を巡る状況を踏まえ意見交換を行い、北朝鮮のたび重なる弾道ミサイルの発射は、我が国のみならず、国際社会に対する深刻な挑戦であることを確認した。また、両閣僚は、北朝鮮による全ての大量破壊兵器及びあらゆる射程の弾道ミサイルの完全な、検証可能な、かつ不可逆的な廃棄に向け、引き続き、国連安保理決議の完全な履行を確保することの重要性を確認し、北朝鮮による「瀬取り」対策に関し、引き続き日米が有志国と連携して取り組むことで一致した。両閣僚は、東シナ海・南シナ海について、力を背景とした一方的な現状変更の試みに反対するとともに、法の支配、航行の自由の定着等に向けた協力の重要性を確認した。

2 日米防衛協力

両閣僚は、日米安全保障条約署名から60周年を迎える現在において、日米同盟が最も強固な関係にあることを歓迎し、整合する両国の戦略を具体化するため、引き続き日米間で緊密に連携し、日米同盟の抑止力・対処力の一層の強化に取り組むことで一致した。また、両閣僚は、自由で開かれたインド太平洋を維持・強化するため、日米が基軸となって、共同訓練や能力構築支援の実施を含め、多様なパートナーと協力していくことの重要性を確認した。

3 在日米軍

両閣僚は、恒常的な空母艦載機着陸訓練（FCLP）の候補地となっている馬毛島について、日本政府による土地の取得に関する最近の進展を歓迎するとともに、引き続き、米軍再編計画の着実な進展のため、日米で緊密に協力していくことで一致した。両閣僚は、普天間飛行場の辺野古への移設が、普天間飛行場の継続的な使用を回避するための唯一の解決策であることを確認し、河野大臣から、沖縄をはじめとする地元の負担軽減に向けた協力を要請した。また、PFOS等への対応についても日米間の協力に関する議論を行い、包括的に検討を進めていくことで一致した。両閣僚は、在日米軍の即応性維持の重要性を確認するとともに、その即応性維持のためにも地元の理解と協力が不可欠であるとの認識の下、引き続き日米で協力していくことで一致した。両閣僚は、米軍の安全な運用の確保の重要性を確認した。

(了)